

# 令和3年度高岡市男女平等推進市民委員会会議録（要旨）

【日 時】 令和3年6月3日（木） 午前10時～午前11時
【場 所】 高岡市男女平等推進センター会議室
<b>【出席者】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・委 員 17人（大工原会長、大坂副会長、青木委員、荒木委員、石王丸委員、大坪委員、大平委員、川渕委員、北嶋委員、杉本委員、塚田委員、野口委員、埜田委員、長谷川委員、沙魚川委員、松嶋委員、吉川委員）</li><li>・高岡市 7人（高橋市長、二塚市民生活部長、堺市民生活部次長、寺口男女平等・共同参画課長、早苗男女平等推進センター所長、酒井係長、小中主任、北主事）</li></ul>
<b>【内 容】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>1 開 会</li><li>2 市長あいさつ<ul style="list-style-type: none"><li>・皆様方には、日頃から本市における男女平等・共同参画の推進に格別なご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げる。</li><li>・行政において、審議会等の女性委員の比率や男子職員の育児休業など、意識の面を含め向上がみられる、一方で、DVなど様々な問題事象における個別の課題も多く、取り組みを進めるステージが変化している。本日は、これまでの実態についての報告と合わせ、次のステージを目指した体制について議論いただきたい。</li><li>・今年度は、第2次高岡市男女平等推進プランの前期事業計画期間が終了することから後期事業計画の策定と合わせ、第2次高岡市DV対策基本計画の事業計画期間の最終年度となっていることから、新たな計画の策定を予定している。</li><li>・本日は、各種施策・事業の推進状況についてご報告し、皆様方のご審議を賜り、男女平等推進プランの後期事業計画の策定、次期DV対策基本計画の策定と今後の本市の男女平等・共同参画の推進のために忌憚のないご意見を賜りたい。</li></ul></li><li>3 会長あいさつ<ul style="list-style-type: none"><li>・今年度は、2017年度に策定した第2次高岡市男女平等推進プランの前期計画期間が終了することから、後期計画の作成に向け開催される予定である。また、第3次高岡市DV対策基本計画の策定も併せて行うこととしている</li><li>・コロナ禍と言われて1年以上になるが、収束せずに社会に大きな影響を与えており、女性に対する雇止めであるとか、貧困、DV、自殺の増加など様々な面で暗い影を投げかけている。しかし、このような困難な状況にあっても、ジェンダー平等を進めていくことが私たちに課せられた責任だと考える。</li><li>・今年は東日本大震災から10年の節目の年であり、防災について女性の視点を入れていくことの大切さがクローズアップされ、国の第5次男女共同参画基本計画の</li></ul></li></ul>

中でもこの視点が盛り込まれている。

- ・国の基本計画もSDGsを意識したものとなっており、誰一人取り残さないという考え方において、より多様性に目を向けていく必要がある。
- ・委員の皆さんのお意見を伺い、計画の策定に活かしていただきたい。

#### 4 議事

##### ◎ 会長

- ・初めに、高岡市男女平等推進プラン（第2次）後期事業計画及びDV対策基本計画（第3次）の策定体制について、事務局より一括してご説明いただきたい。

##### ● 事務局

- ・高岡市男女平等推進プラン（第2次）後期事業計画及びDV対策基本計画（第3次）の策定体制を資料1-1、1-2、1-3により説明

##### ◎ 会長

- ・推進プラン・DV対策計画の素案検討は、二つの専門部会を設け起草委員により作業を進める。
- ・推進プラン計画部会には「野口委員」、「川渕委員」、「松嶋委員」、「長谷川章悟委員」、「石王丸委員」、DV対策基本計画部会には「大平委員」、「北嶋委員」、「大坪委員」、「青木委員」、「沙魚川万紀子委員」にお願いしたい。

- ・次に高岡市男女平等推進プラン及び高岡市DV対策基本計画の取組状況について事務局より一括してご説明いただきたい。

##### ● 事務局

- ・男女平等推進プランの取組状況を、資料2、3により説明
- ・DV対策基本計画の取組状況を、資料4により説明

#### 意見交換

##### ◎ 会長

- ・ただ今の説明で、何かご質問やご意見はあるか。

##### ○ 委員

- ・ワーク・ライフ・バランスの推進などに取り組んでいるが、講座や会議など、密を避けるためにオンラインでの発信や開催回数を多くできるような体制を市側として作っていただきたい。

##### ● 事務局

- ・オンライン環境の整備については、関係課とも協議しながら施設の整備について考えてまいりたい。また、講師や参加者の環境の整備も必要であり、開催に向けて検討してまいりたい。

○ 委員

- ・DV被害者が一時保護されるまでの緊急避難先の確保について、以前は難しいと聞いていたが、高岡市ではそういう場所を確保されていないということか。

● 事務局

- ・一時保護については、県の女性相談センターにおいて、被害者の女性や同伴する児童などが安全な場所で食事も提供され、次の自立に繋がるまでの期間の安全を確保している。その一時保護されるまでの緊急避難先については、市内の旅館やホテルなどで、夜遅くからでも避難できる体制が整っている状況である。まだ実績は無いが、緊急避難が必要な場合は、被害者の安全確保に引き続き取り組んでまいりたい。

○ 委員

- ・連合自治会長女性比率の低さについては、地域での女性参画が少ないと表れであり改善も見られない。この委員会においてどうすれば改善できるか検討すべき。また、重要な地域の意識改革をどう進めていくかを議論するために、新プランの起草メンバーに案の段階では入っていない自治会代表の大坂委員が入り議論していただきたい。
- ・市営住宅に入りやすいように要件等は緩和されているのか。DV等の被害者が使いやすい迅速、的確な対応が求められており、住宅支援、生活支援を今後も進めていただきたい。

◎ 会長

- ・連合自治会については、自治会、地域の状況によって難しい面もあるかと思う。
- ・市営住宅は、入居件数が1件とあり、入居対応されている様子がうかがえる。

○ 委員

- ・ワーク・ライフ・バランスの推進事業所認定に関して、周知、申請の提案を図ることについて、事業所に対してどんな、働きかけをするかを確認したい。また、女性委員比率の高岡市の数値目標は、他の市における数値目標と比べて平均的な数字なのか或いは突出した数字なのか伺いたい。

● 事務局

- ・ワーク・ライフ・バランス推進事業所認定の増加に向けては、商工会議所や企業の方が集まる機会を捉えて働きかけ、制度を広く周知してまいりたい。  
指標目標の比較については、県や全国の指標があるなか、審議会等の女性比率については、富山県内の市町村の比率を示すサイトがあるなど、それらを参考にしながら、研究してまいりたい。

◎ 会長

- ・富山市と飛騨市を合わせ3つの市で連絡会を開いた際、高岡市が特に劣っているということではなく、優れているところの方が多いという印象は受けている。

○ 委員

- ・数字的に低いことはないということだが、例えば、各県で比較した場合、富山県は女性の共働き率が全国3位ぐらいにもかかわらず、女性の管理職に関しては、下から3番目というギャップがあるなど、これらの要因として男女平等・共同参画等の状況と関係あるというふうに考えられる。

◎ 会長

- ・次に高岡市男女平等・共同参画に関する意識・実態調査について事務局よりご説明いただきたい。

● 事務局

- ・高岡市男女平等・共同参画に関する意識・実態調査について資料5により説明

◎ 会長

- ・次に高岡市男女平等推進プラン（第2次）後期事業計画及びDV対策基本計画（第3次）の策定について事務局から説明いただく前に、国の第5次男女共同参画基本計画を踏まえる必要があることから、私の方から説明させていただきたい。

- ・国の第5次男女共同参画基本計画について会長より説明

● 事務局

- ・高岡市男女平等推進プラン（第2次）後期事業計画及びDV対策基本計画（第3次）の策定について資料6、7により説明

意見交換

◎ 会長

- ・性的少数者の理解促進に関し、他自治体においてパートナーシップ制度を導入するところが増えしており、高岡市でもパートナーシップ制度の検討をしてはどうかと考えている。

5 閉会

● 事務局

- ・これで本日の高岡市男女平等推進市民委員会を終了とする。

[以上]